

iシェアーズ
月次ETF*資金流入レポート

ETFは世界中で約5,900本が上場され、機関投資家・個人投資家の双方に活用されており、その規模は3兆ドル（約340兆円）を超えています。

ETFは株式市場で株式のように取引される一方で、上場「投資信託」であり、投資信託としての資金の出入りが日々発生**しています。世界中で様々な投資家が利用しているETFの資金流入は、世界の投資家の動向を探る上でも有用な情報になると考えられます。

当レポートでは、世界のETFの資金流入の状況をまとめ、それらから見えてくる世界の投資家動向についてご紹介していきます。

*ETF(Exchange Traded Fund)のほか、ETN(Exchange Traded Note)、ETC(Exchange Traded Commodity)、ETI(Exchange Traded Instrument)等の上場金融商品を含みます。

**ETF独自の「設定／交換」と呼ばれる現物バスケットと受益権の受け渡しによりETFへの資金流入が発生します。（すべてのETFが現物での設定／交換を行うわけではありません）

2016年3月のETF資金流入

2016年3月の世界のETFへの資金流入は、455億ドル（約5.1兆円）の流入となりました。

株式ETFは二ヶ月ぶりに流入に転じ、258億ドルの流入を記録しました。直近の米国経済の底堅さが中国経済や原油に対する懸念を和らげ、米国の株式市場のリターンは2月中旬以降反発し、3月の米国株式ETFの流入は183億ドルとなりました。

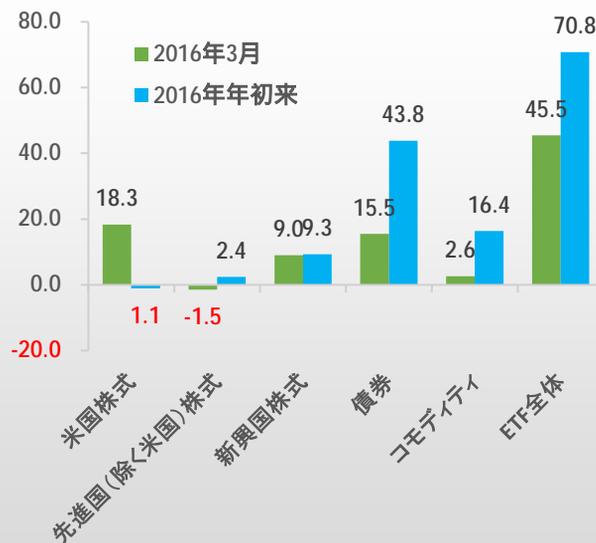
新興国株式ETFは投資家心理の回復の兆候がみられました。為替動向や経済状況に関する懸念材料まだ残りますが、過去3年の内、最も資金を集めた月となりました。

価格変動リスクを抑えた銘柄選定を行う最小分散ETFは32億ドルの新規資金を集めました。

債券ETFは流入が継続し、3月単月で155億ドルの流入、四半期では過去最大の438億ドルの流入となりました。リスクをとった投資を選好する動きがグローバルの投資家の間で見られ、投資適格社債に64億ドル、ハイ・イールド債券に55億ドル流入する一方、米国債からは50億円の流出となりました。

金ETFは27億ドルの資金流入となり、3ヶ月連続で比較的大きな資金流入となりました。

【世界のETFの資金流入（十億ドル）】

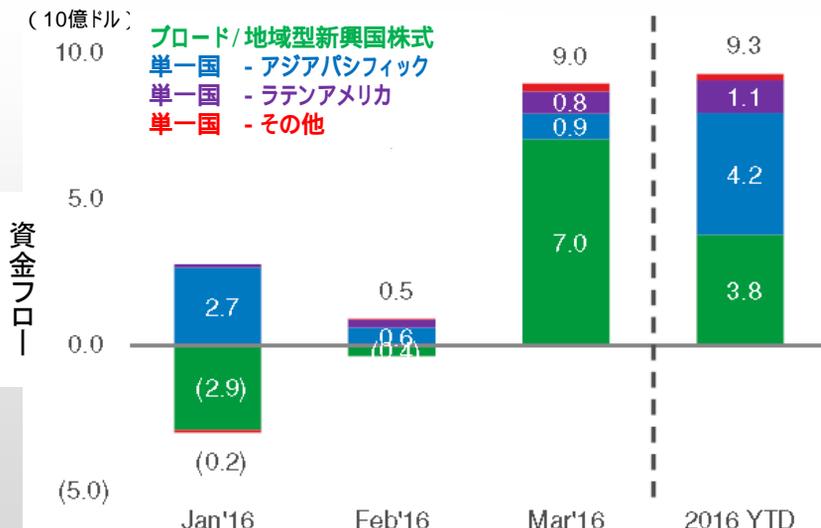


出所：「BlackRock Global ETP Landscape Mar 2016」

当資料は情報提供を目的として作成されたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。当資料は当社が信頼できると判断した資料・データ等により作成しましたが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、当資料中の各種情報は過去のものであり、今後の運用成果を保証するものではなく、当資料を利用したことによって生じた損失等について、弊社はその責任を負うものではありません。さらに、本資料に記載された市況や見通しは作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。

ETFから見る世界の投資家動向

【新興国株式ETFへの資金フロー】



前述の通り、3月のETF市場では、新興国ETFへの資金流入の回復の兆候が見られました。新興国株式ETFへの流入は、3月単月で90億ドルとなり、2013年1月以来の大きな流入となりました。内訳をみると新興国全域を対象とするETFへの資金流入が最も多く67億ドルとなりましたが、アジアパシフィックやラテンアメリカの単一国ETFもその恩恵を受けました。MSCIエマージング・マーケット指数は年初来では5.4%上昇していますが、3月単月では次の点などを背景として13%上昇しました。

- 1) それまでのドル高基調により多くの新興国の経済は自国通貨安による悪影響を受けていたが、足元は通貨が安定し、経済も落ち着きを取り戻している
- 2) 足元の原油やその他の資源・商品価格の落ち着きは資源輸出に依存する国々の経済にとって追い風となった
- 3) 先進国市場と新興国市場の各種株価指標を比べると、新興国のほうが割安感がみられた

新興国市場への投資を検討される際は、先進国市場と比べ政治的不安定等により株価変動がより大きく投資リスクが高くなる点にご留意ください。

ETFの主な投資リスクについて

ETFは投資元本および投資元本からの収益の確保が保証されているものではありません。連動を目標とする指数、組入れ有価証券の価格変動、金利及び外国為替の変動等の要因によりETFの価格は変動することから、投資者は損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

ETFの価格が変動する要因や変動の大きさは、各商品及び各商品が連動を目標とする指数等により異なります。優先株は金利上昇等により価値が減少する場合があります。また配当の支払いは保証されていません。満期到来、償還、繰上げ償還、転換などによってファンドの利回りの低下を招く場合があります。特定の地域や分野に特化した投資では、一般に変動が大きくなります。不動産投資信託(REIT)への投資は経済状況の変化や信用リスク、金利変動の影響を受けます。

手数料、費用等について

【売買時の手数料】当ETFを売買する際の手数料は取扱い金融商品取引業者(証券会社)等によって定められます。詳しくは取扱会社までお問い合わせください。【保有時の費用】当ETFの保有期間中は運用管理費用等を間接的にご負担いただけます。保有時の費用の率(総経費率)は個別のETF/JDR毎によって異なり、また運用状況や保有期間等に応じて異なることからその上限額を示すことはできません。詳細は取扱い金融商品取引業者(証券会社)にてご確認下さい。またiシェアーズのウェブサイト(<http://www.blackrock.com/jp/ishares>)にて当ETFに関する情報を開示しております。

ブラックロック・ジャパン株式会社

iシェアーズ事業部 TEL 03-6703-4110 (部代表) www.blackrock.com/jp/ishares
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第375号
加入協会/一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 投資信託協会、日本証券業協会

iShares®
by BLACKROCK®

当資料は情報提供を目的として作成されたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。当資料は当社が信頼できると判断した資料・データ等により作成しましたが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、当資料中の各種情報は過去のものであり、今後の運用成果を保証するものではなく、当資料を利用したことによって生じた損失等について、弊社はその責任を負うものではありません。さらに、本資料に記載された市況や見通しは作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。